

### ■インド：34カ所、約3,900万kWの火力発電プロジェクトが破産の危機

2018年8月27日付の報道によると、アラーハーバード高等裁判所（ウッタールプラデシュ州）は、インド準備銀行（RBI）が不良債権基準を強化したことによって破産の危機に陥った民間発電事業者からの暫定救済（interim relief）の申し立てを却下した。RBIが付与した180日間の猶予期間は8月27日で終了しており、高裁は金融機関に対して、債務不履行に陥っている発電プロジェクトの破産手続きを進めるよう命令した。破産の危機にあるのは、GMR Energy、Essar Mahan等の民間事業者が運営する34の火力発電所（運転中2,355万kW、建設中1,532万kW）である。